

タツモ株式会社 決算説明資料

2021年12月期

2022年2月14日

タツモ株式会社



社名	タツモ株式会社
設立	1972年（昭和47年）2月26日
本社所在地	岡山県岡山市北区芳賀5311
資本金	27億2,406万7,238円
従業員数	単体 354名/連結 1,099名（2021年12月31日現在）



事業内容	半導体製造装置、半導体製造用搬送装置、液晶製造装置、 紫外線照射装置、めっき処理装置、精密金型・樹脂成型品 などの開発・製造・販売
------	---

1972	電子機器部品の製造及び設備の修繕を目的として設立
1980	インジェクション金型他、金型の製造・販売を開始
	半導体製造用全自動レジスト塗布装置を開発、製造・販売を開始
1989	液晶用カラーフィルター製造装置を開発、製造・販売を開始
1990	本社・本社工場を新築、岡山県井原市木之子町6186番地に移転
	スーパークリーンルーム用超小型搬送システムを開発、製造・販売を開始
1994	エンボスキャリアテープの製造・販売を開始
1995	インジェクション成形品の製造・販売を開始
2001	半導体製造用厚膜コーター「CS13」シリーズを開発、製造・販売を開始
2004	JASDAQ市場に株式を上場
2008	TAZMO VIETNAM CO.,LTD.（ベトナム：ホーチミン市）を設立

2009	第10世代対応カラーフィルター製造装置を開発、製造・販売を開始 3M社（米国）と半導体製造装置のライセンス契約を締結
2013	アプリシアテクノロジー株式会社を子会社化 岡山県岡山市北区内にTAZMO VIETNAM CO.,LTD.を移転・新築
2015	第三者割当増資により、資本金16億1,683万円へ増資
2016	タツモ岡山技術センターを開設
2017	株式会社ファシリティ、株式会社クォークテクノロジーを子会社化
2018	東京証券取引所市場第一部へ市場変更 新株式発行により、資本金27億2,406万円へ増資
2019	本社を岡山県岡山市北区芳賀5311番地に移転
2020	アプリシアテクノロジー株式会社を吸収合併



富萊得科技(東莞)有限公司



富萊得(香港)有限公司



TAZMO INC



TAZMO VIETNAM CO.,LTD



FACILITY HANOI CO.,LTD



龍雲阿普理夏电子科技有限公司

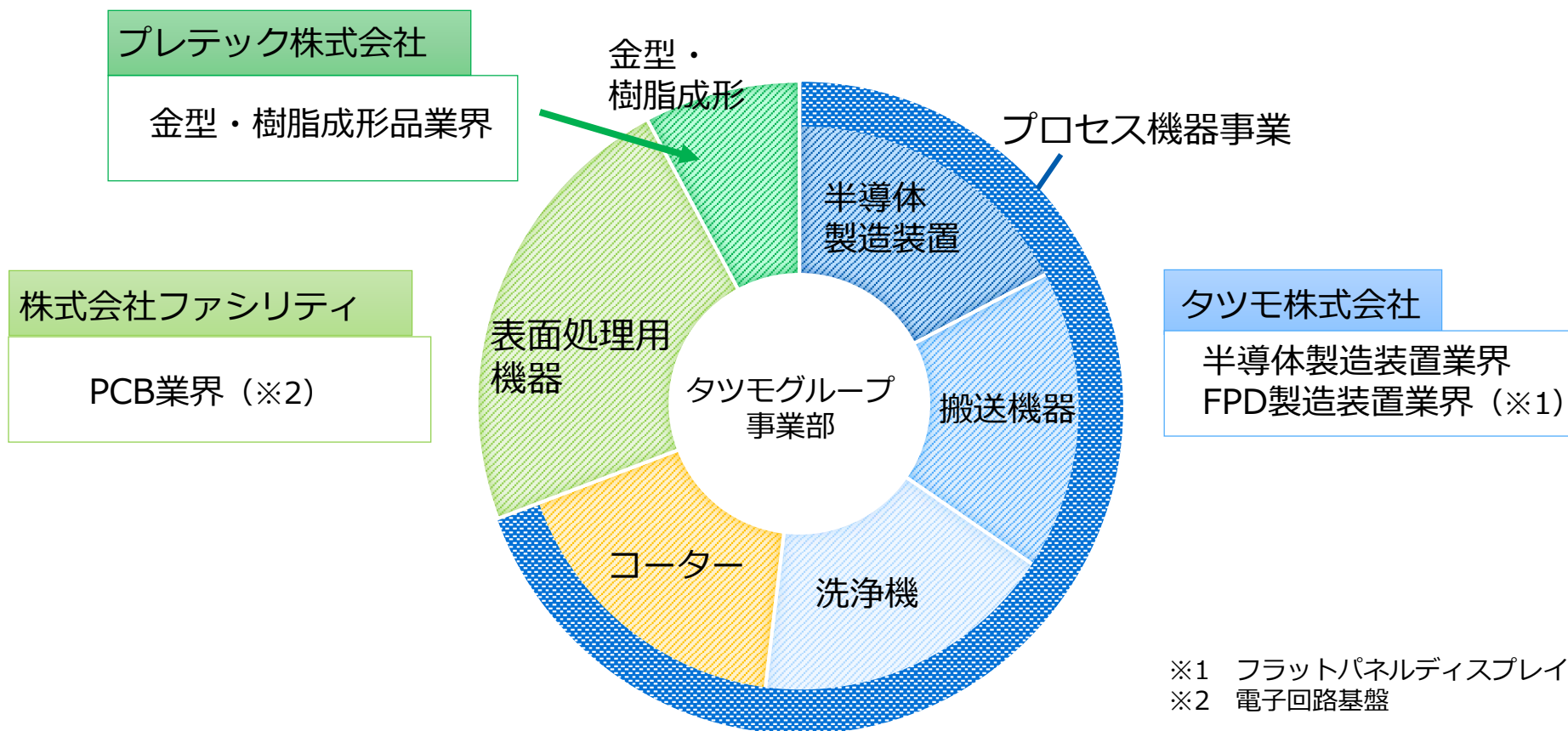


上海龍雲精密機械有限公司



龍雲亞普恩科技股份有限公司





半導体製造装置、搬送ロボット、液晶製造装置、精密金型、樹脂成形品、めっき処理装置等の開発・製造・販売

半導体製造装置事業

半導体製造に用いられる薬液の塗布・現像装置や、シリコンウェーハ薄化のために支持体とウェーハを仮接合・剥離する装置等の開発・製造・販売



搬送機器事業

半導体製造装置に用いられるシリコンウェーハ等搬送ロボットやアライメント機器、またそれらをユーザー別の仕様にユニット化した製品等の開発・製造・販売



洗浄装置事業

半導体製造に用いられるシリコンウェーハ洗浄装置や、スラリーの供給装置、リン酸再生装置などの開発・製造・販売



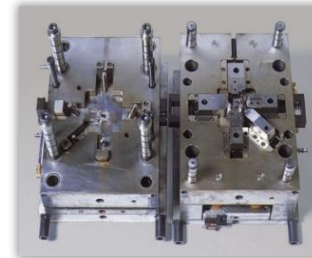
コーター事業

液晶カラーフィルター製造装置、ナノインプリント製造装置、パネルレベルパッケージ製造の開発・製造・販売



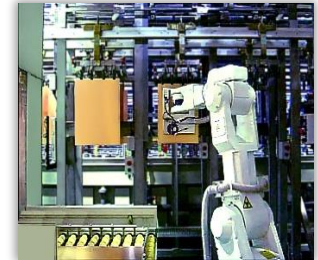
金型・樹脂成形事業

電子機器部品用の金型の製作及び、その金型を使ったコネクタ等の樹脂成形品、エンボスキャリアテープの製造・販売



表面処理用機器事業

めっき処理装置や回路形成装置等のプリント基板製造装置等の開発・製造・販売

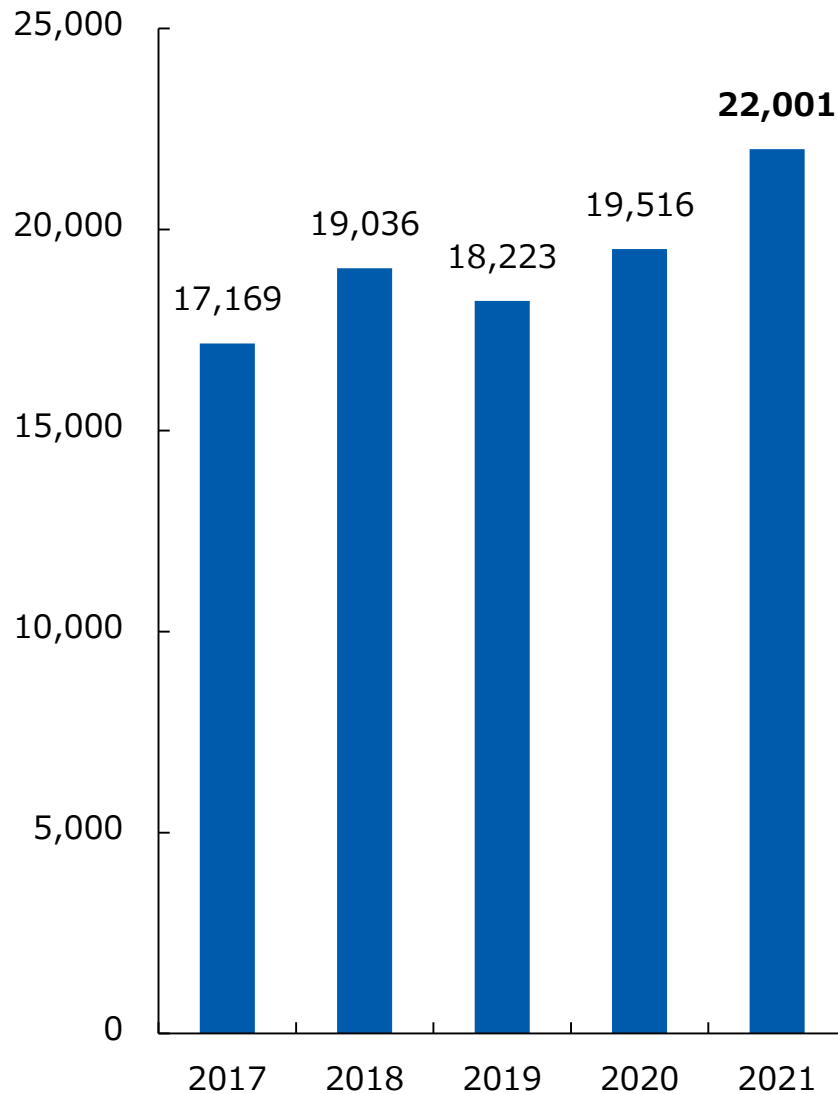


単位:百万円	'20年 12月期	'21年 12月期	売上比 (%)	当初計画	計画比 (%)
売上高	19,516	22,001	—	21,376	102.9
売上総利益	5,300	5,933	27.0	—	—
販管費	3,413	3,841	17.5	—	—
営業利益	1,886	2,092	9.5	1,767	118.3
経常利益	1,849	2,218	10.1	1,724	128.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,693	1,749	7.9	1,220	143.3

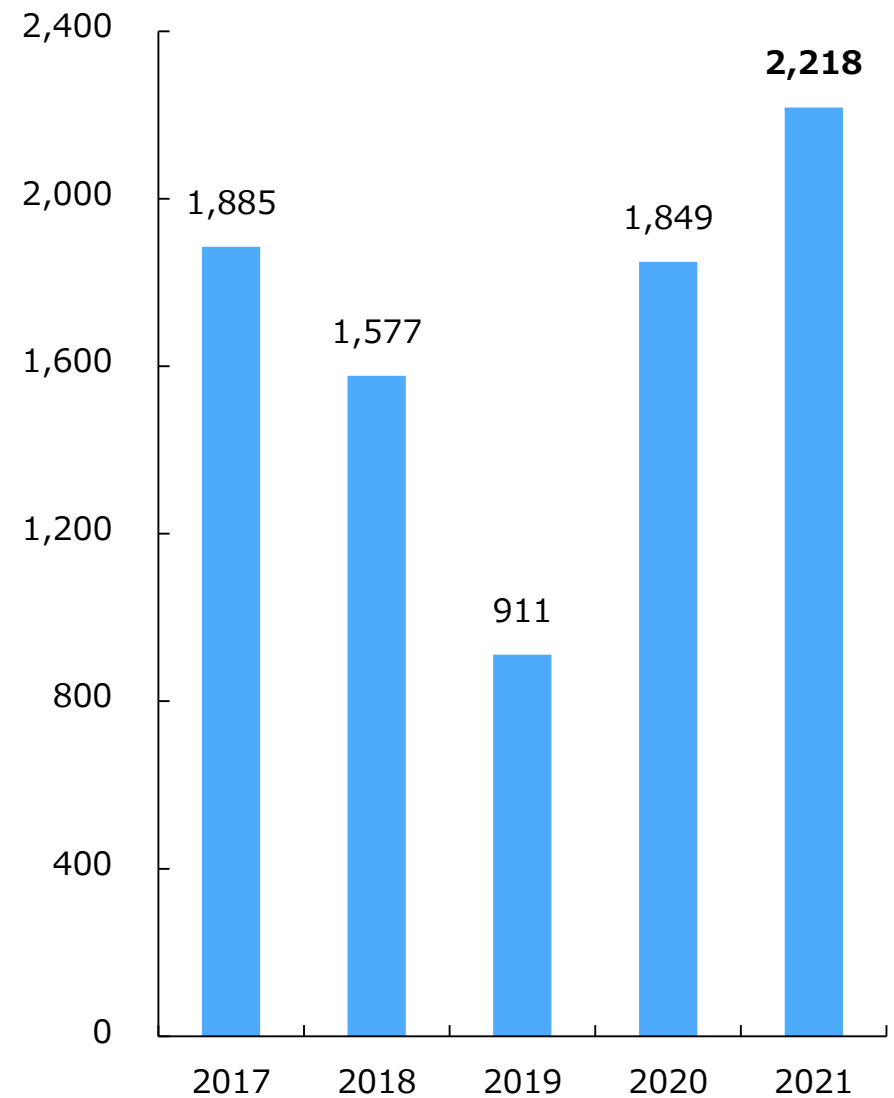
検収遅延等もあったが、売上・利益ともに当初計画を上回り過去最高益を達成。

単位：百万円

売上高推移



経常利益推移

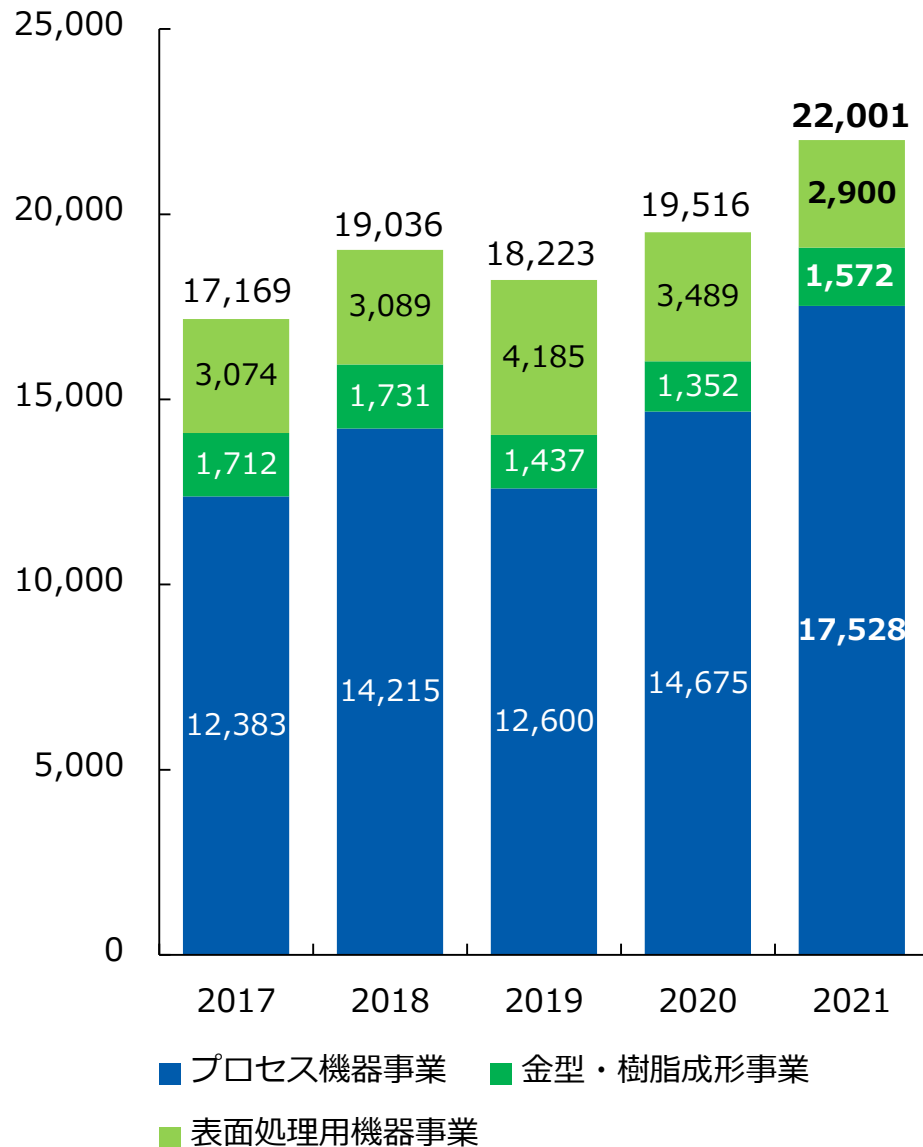


セグメント別 売上高・営業利益推移

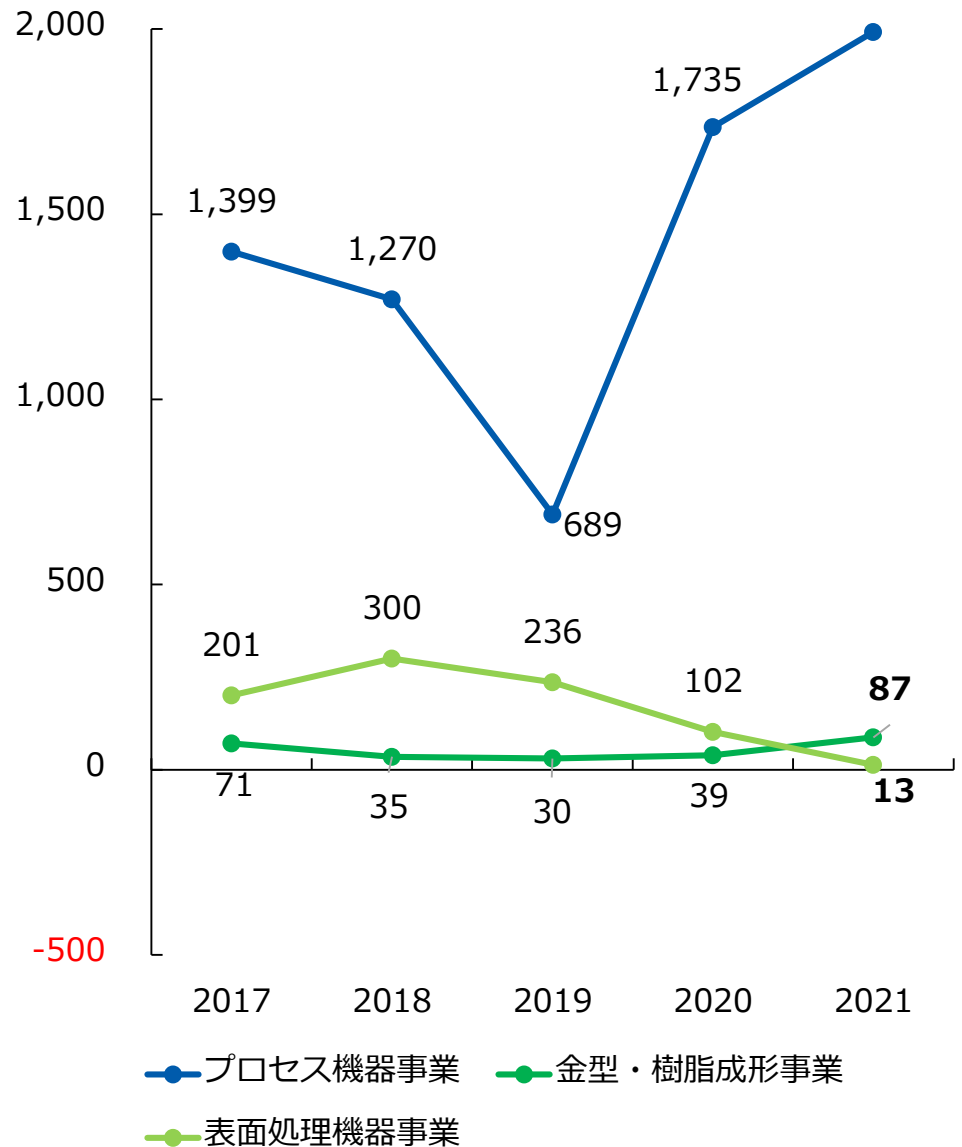
TAZMO

単位：百万円

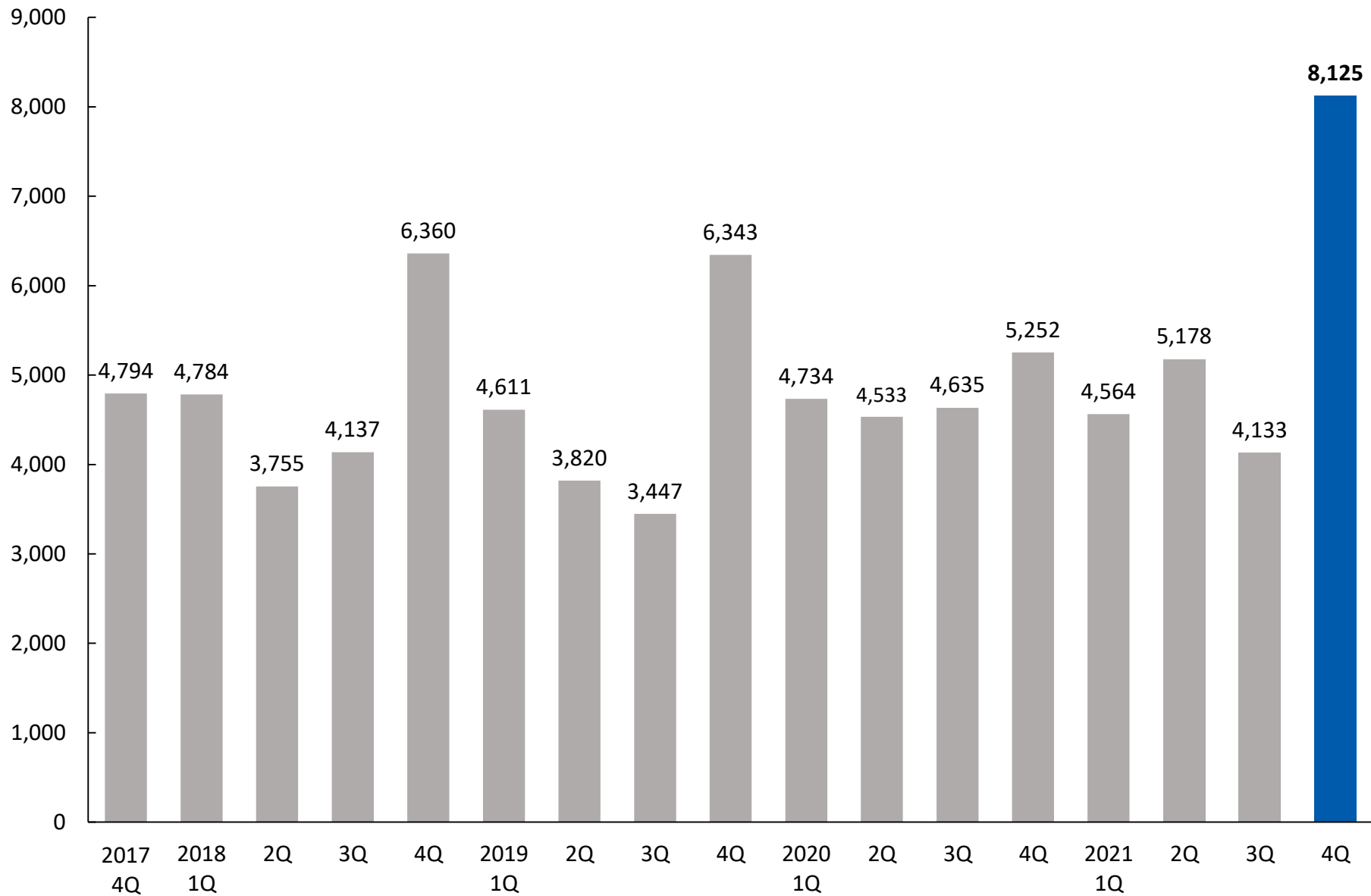
売上高推移



営業利益推移



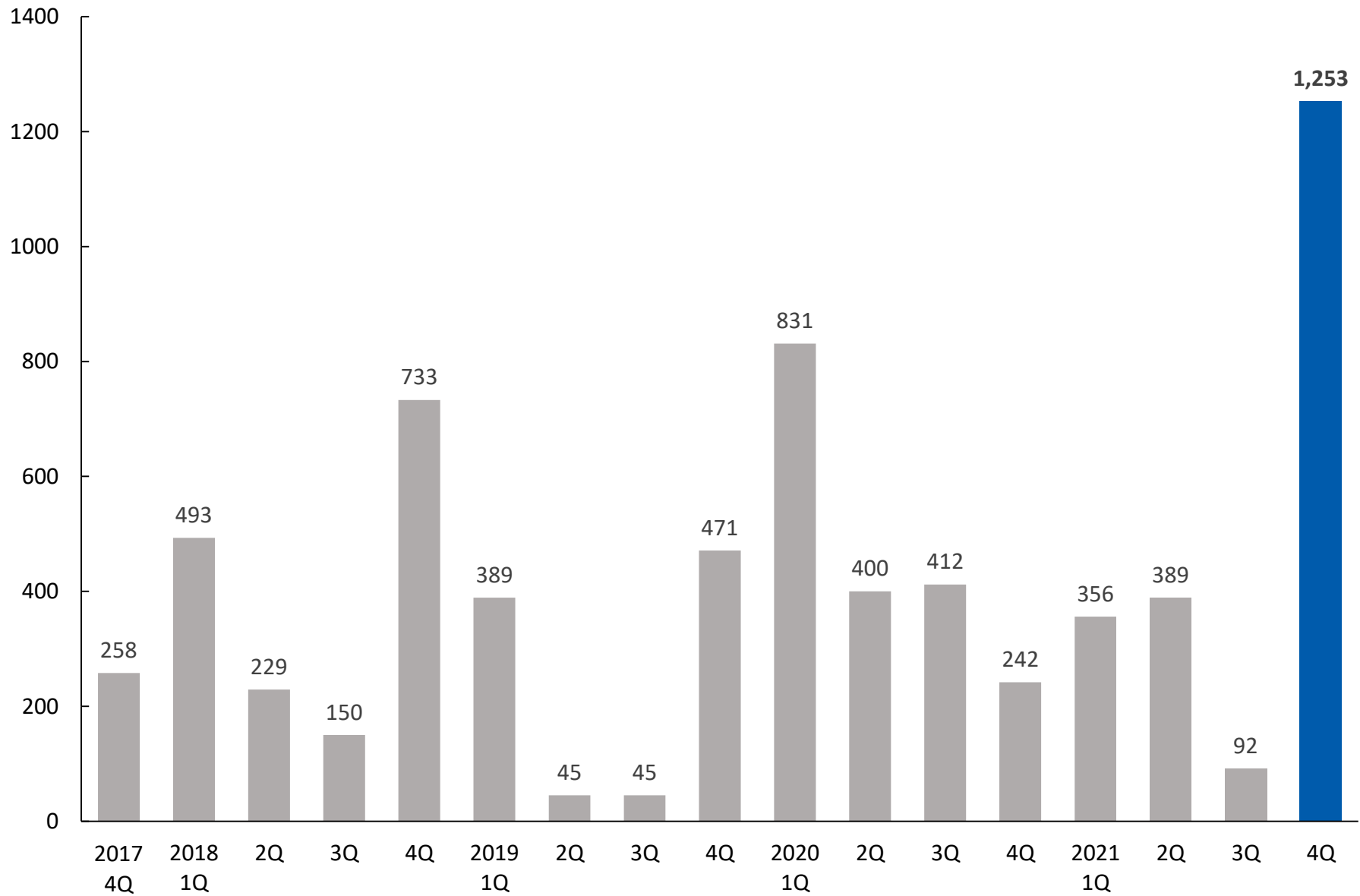
単位：百万円



連結営業利益推移

TAZMO

単位：百万円

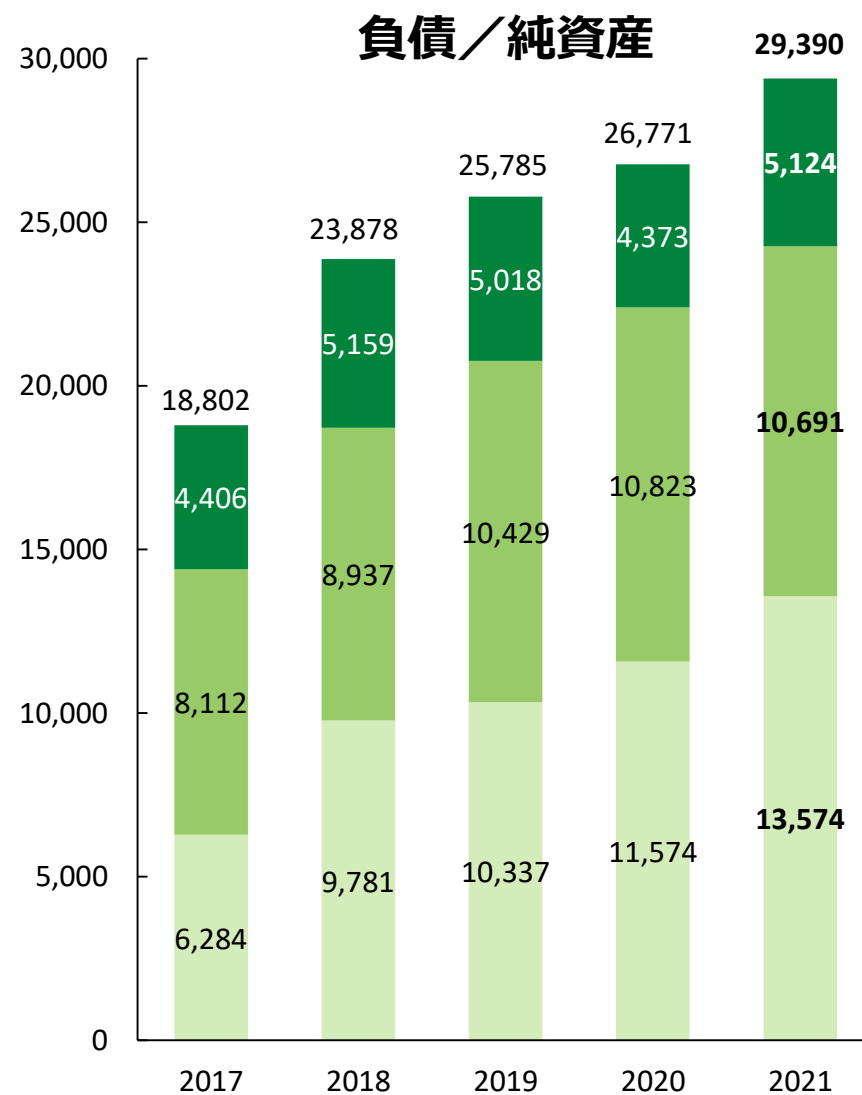
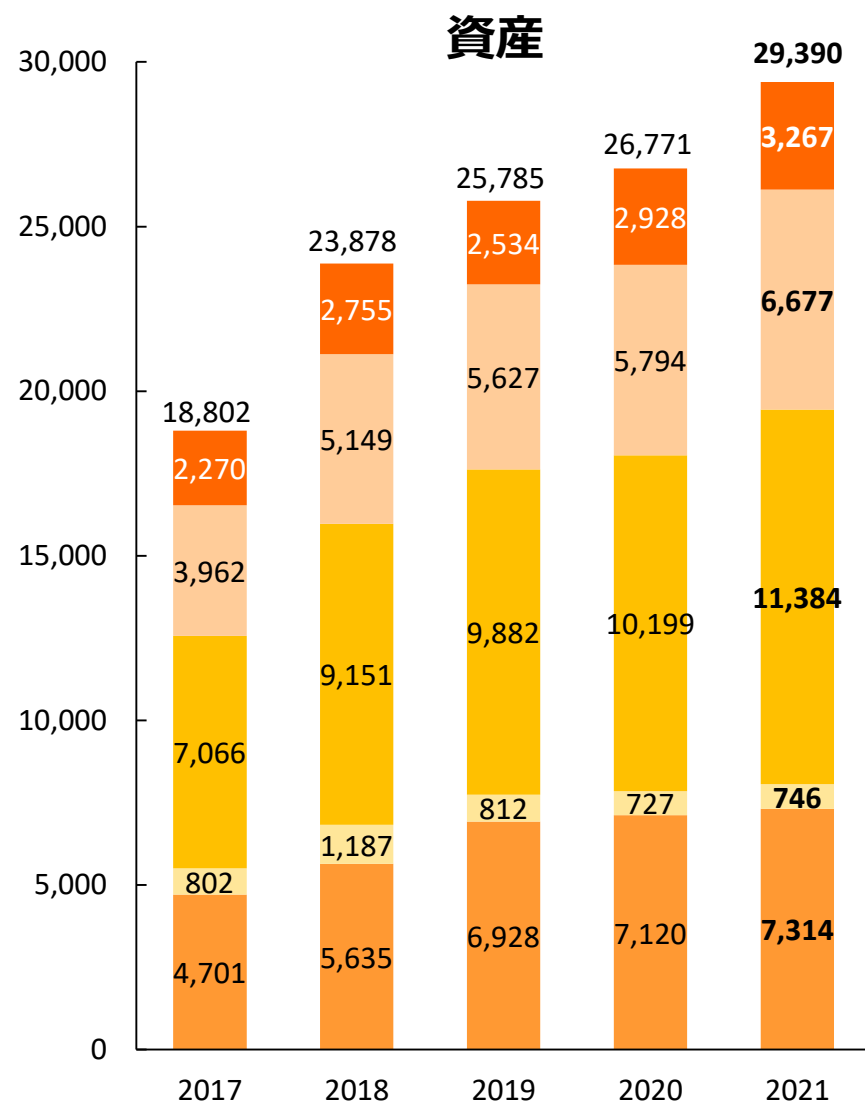


連結貸借対照表

単位：百万円	‘20年12月期	‘21年12月期	増減
流動資産	19,650	22,075	2,424
有形固定資産	5,788	5,870	82
無形固定資産	171	147	△24
投資その他資産	1,160	1,295	135
総資産	26,771	29,390	2,618
流動負債	12,154	13,457	1,303
固定負債	3,042	2,357	△684
純資産	11,574	13,574	2,000
自己資本比率	42.6%	45.5%	2.9P

主な増減		単位：百万円
資産		
	'21年4Q	前期末比
現金及び預金	3,267	338
受取手形及び売掛金	5,475	2,061
電子記録債権	1,201	△1,178
原材料	2,050	1,111
負債		
	'21年4Q	前期末比
支払手形及び買掛金	1,837	418
電子記録債務	2,488	409
短期借入金	3,171	1,123
前受金	3,371	△1,338
長期借入金	1,652	△372

単位：百万円



■ 固定資産
■ たな卸資産
■ 現金同等物
■ その他流動資産
■ 売掛債権

■ 純資産
■ その他負債
■ 有利子負債

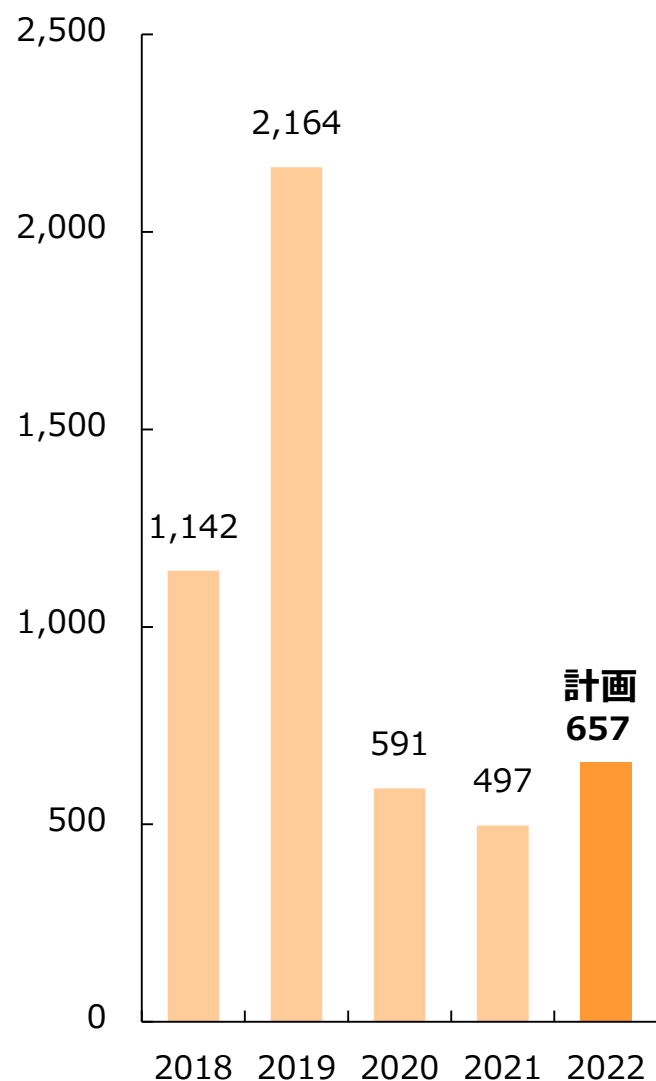
単位：百万円

	'20年12月期	'21年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,178	336
税金等調整前当期純利益	1,768	2,218
減価償却費	577	589
売上債権の増減額（△：増加）	△234	△652
たな卸資産の増減額（△：増加）	△349	△996
仕入債務の増減額（△：減少）	805	646
前受金の増減額（△：減少）	△266	△1,443

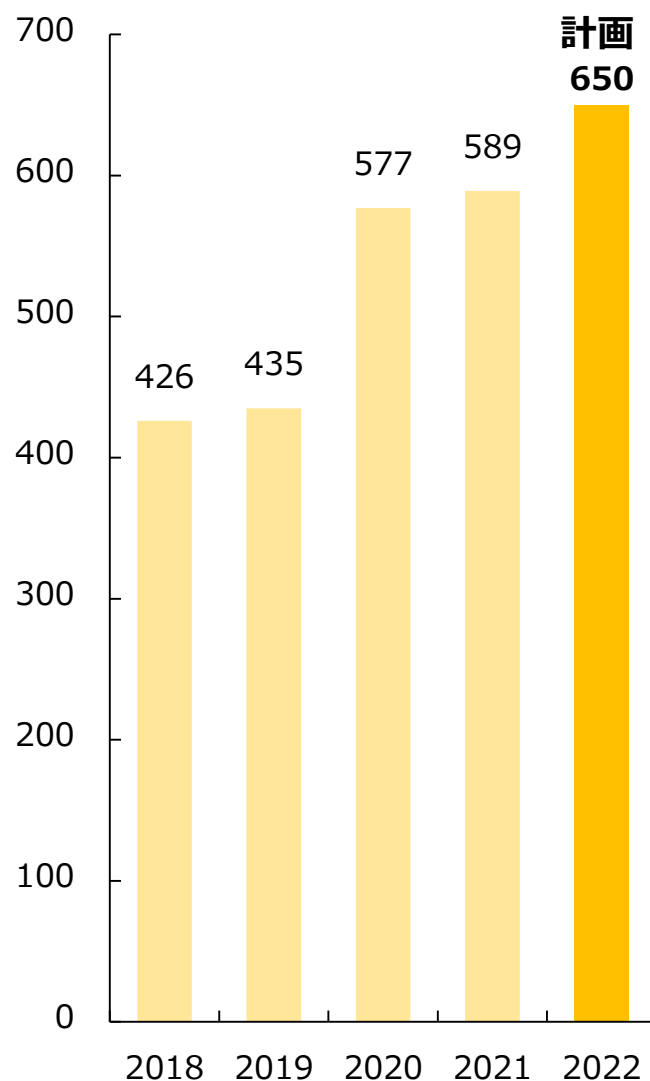
	'20年12月期	'21年12月期
投資活動によるキャッシュ・フロー	△877	△795
投資有価証券の取得による支出	△200	△200
有形固定資産の取得による支出	△543	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,059	523
長期借入による収入・短期借入金 の純増減	514	1,980
長期借入金の返済による支出	△1,159	△1,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	167
現金及び現金同等物の増減額 (△：減少)	214	231
現金及び現金同等物の期末残高	2,734	2,981

単位：百万円

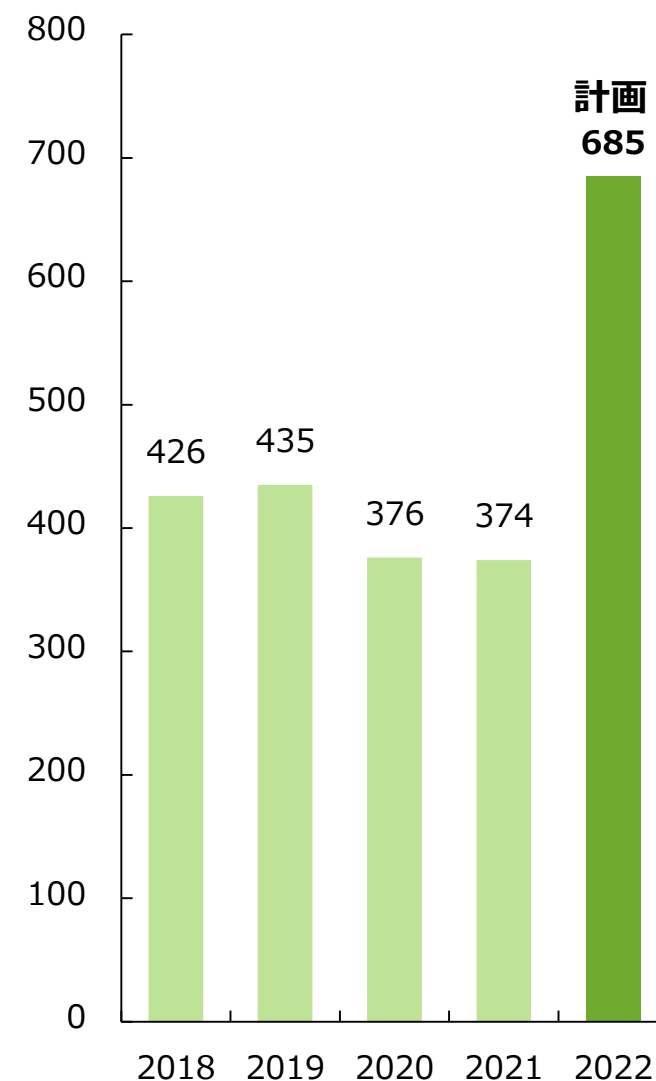
設備投資



減価償却費



研究開発費



単位：百万円	'20年12 月期	売上比 (%)	'21年12 月期	売上比 (%)	当初計画	計画比 (%)
売上高	19,516	—	22,001	—	21,376	102.9
プロセス機器事業	14,675	75.2	17,528	79.7	16,346	107.2
半導体装置	4,046	20.7	4,603	20.9	4,148	110.9
搬送機器	5,320	27.3	5,526	25.1	4,296	128.6
洗浄機	2,760	14.1	3,730	17.0	4,129	90.3
コーター	2,547	13.1	3,666	16.7	3,772	97.1
金型・樹脂成形事業	1,352	6.9	1,572	7.1	1,474	106.6
表面処理用機器事業	3,489	17.9	2,900	13.2	3,555	81.5

半導体装置：4Qに集中していた案件も順調に検収となり 前年同期比で13.8%増

搬送機器：引き続き好調 ベトナム子会社も好調で計画比大幅増 前年同期比3.9%増

洗浄機：検収遅れにより計画は未達 案件は増加 前年同期比35.1%増

コーター：検収ずれ等により計画未達 前年同期比43.9%増

表面処理用機器：設備投資は回復傾向だが後半巻き返せず計画未達 前年同期比16.9%減

単位：百万円	'20年12 月期	売上比 (%)	'21年12 月期	売上比 (%)	当初計画	計画比 (%)
営業利益	1,886	9.7	2,092	9.5	1,767	118.3
プロセス機器事業	1,735	8.9	1,992	9.1	1,575	126.4
金型・樹脂成形事業	39	0.2	87	0.4	31	280.6
表面処理用機器事業	102	0.5	13	0.1	161	8.1
セグメント間連結消去	8	—	△1	—	—	—

プロセス機器事業：半導体装置・洗浄機の売上増加 原価低減により前年同期比14.8%増

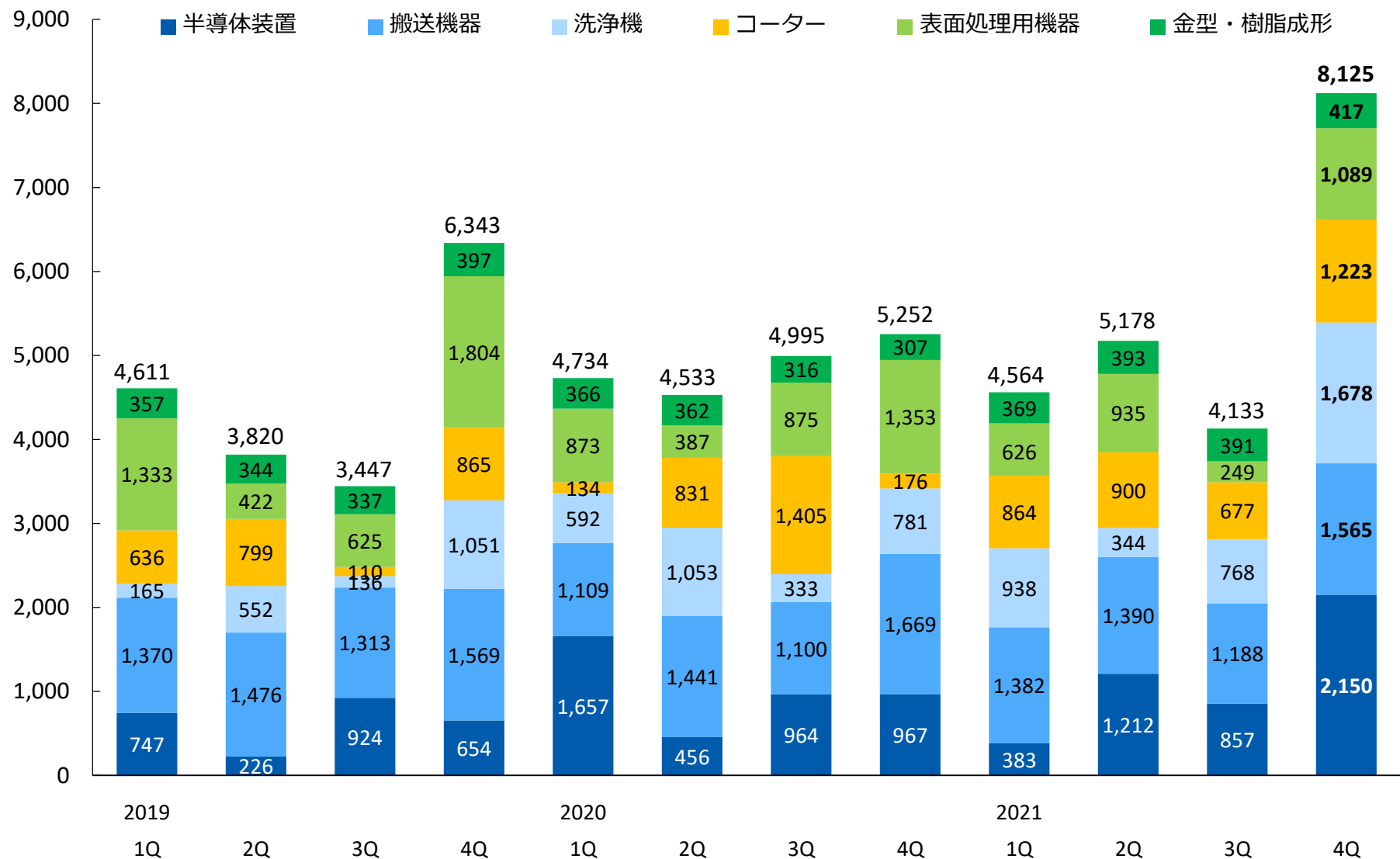
金型・樹脂成形事業：コネクタ需要が好調 前年同期比123.1%増

表面処理用機器事業：売上減少と利益率の低い案件が多かったため 前年同期比87.3%減

セグメント別 売上高推移

TAZMO

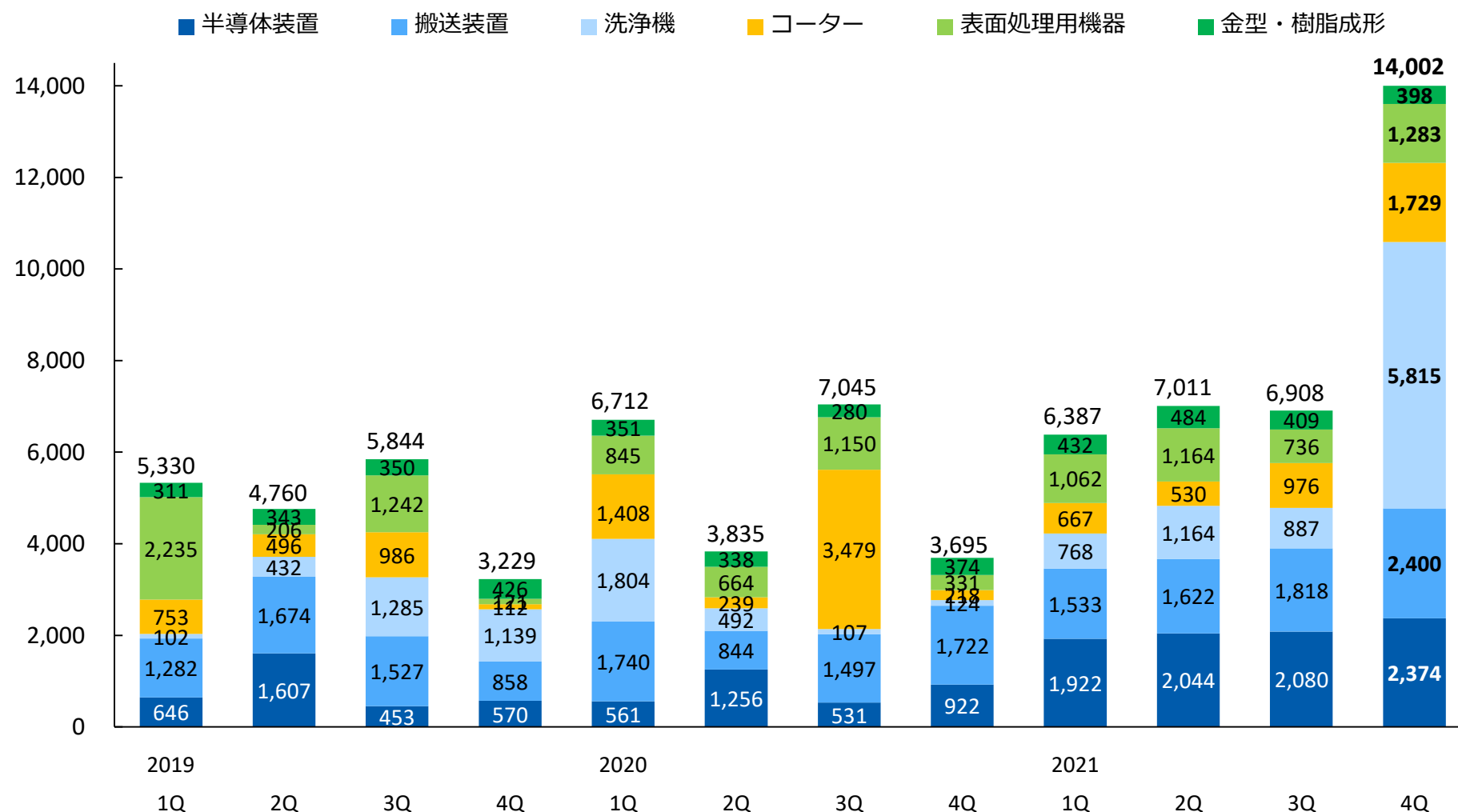
単位：百万円



セグメント別 受注高推移

TAZMO

単位：百万円



プロセス機器事業：半導体装置・搬送機器の受注は引き続き好調。洗浄機はウェーハ
メーカー向け大口案件受注 CFコーターの追加投資・改造案件受注

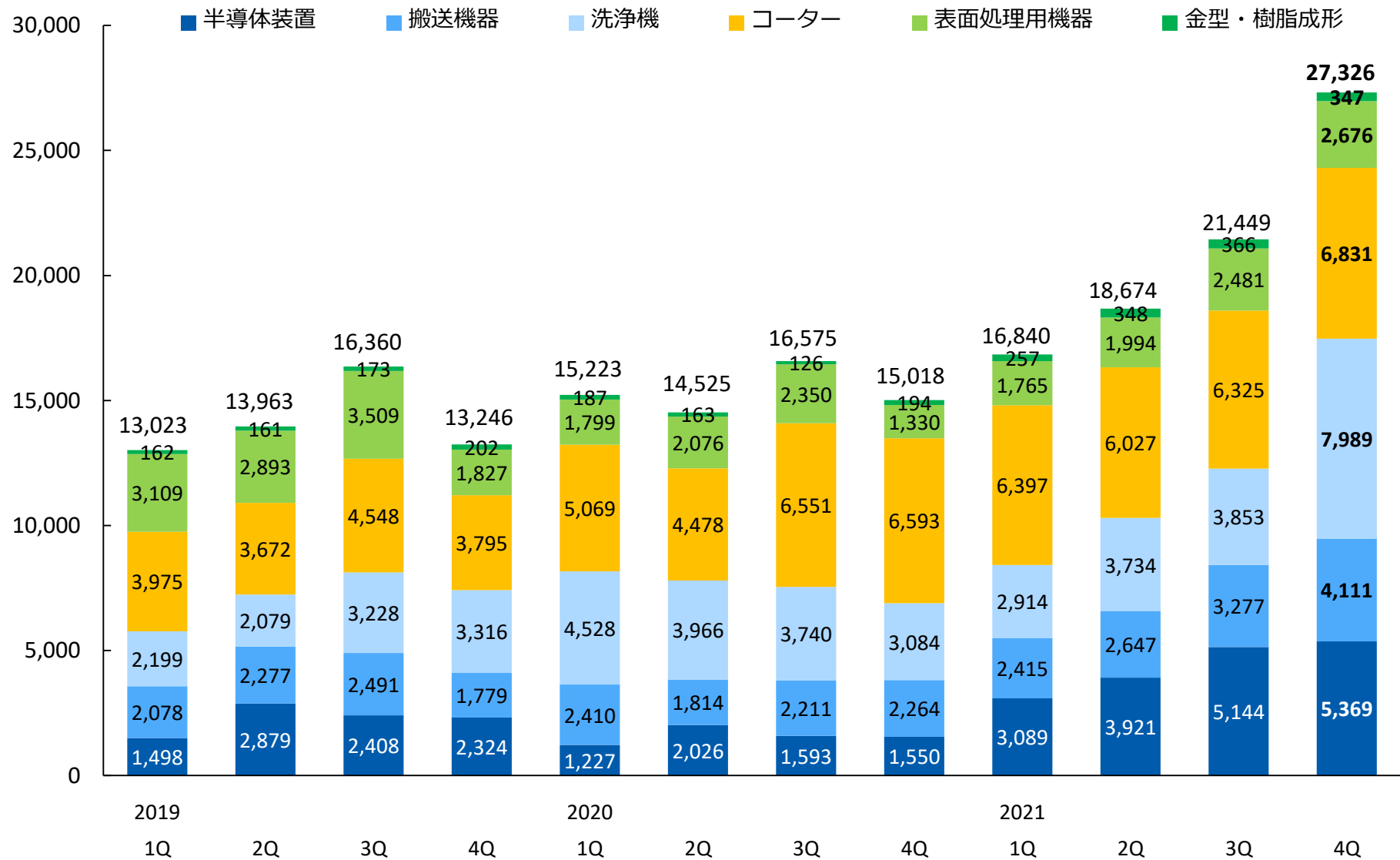
表面処理用機器事業：プリント基板メーカーの設備投資が回復 引き続き引合・受注が好調

金型・樹脂成形事業：コネクタ関係の受注好調

セグメント別 受注残高推移

TAZMO

単位：百万円

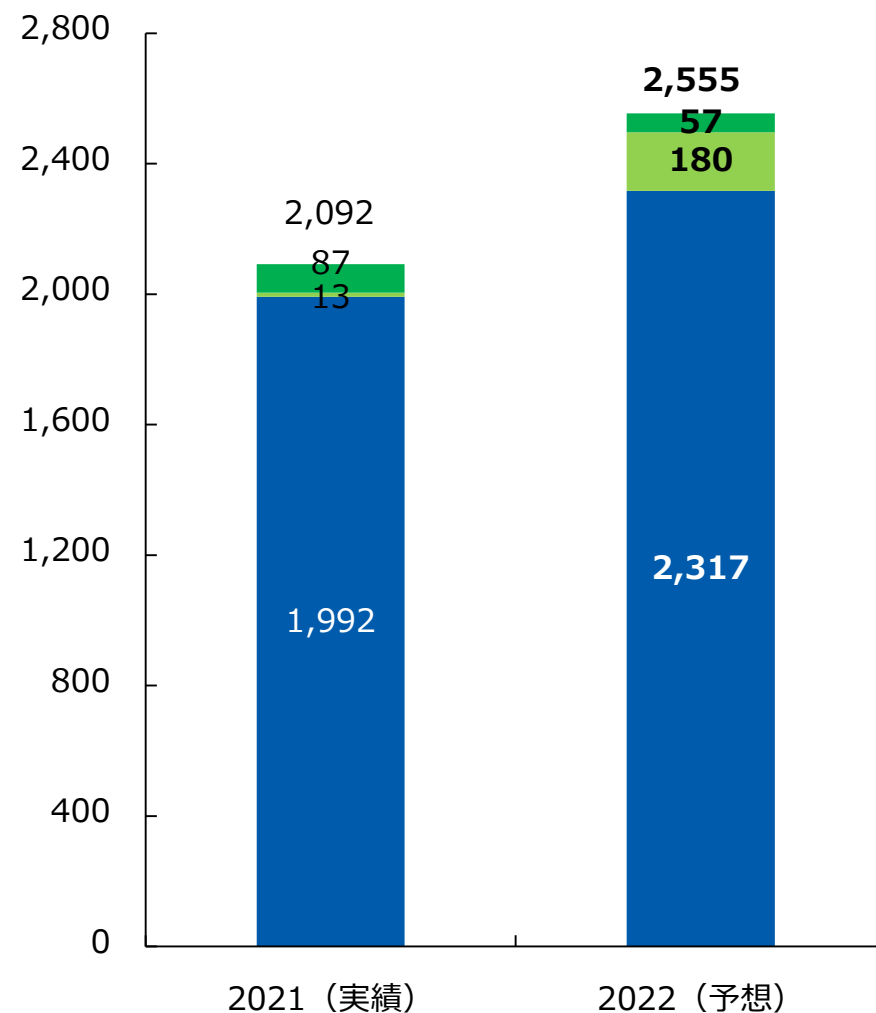
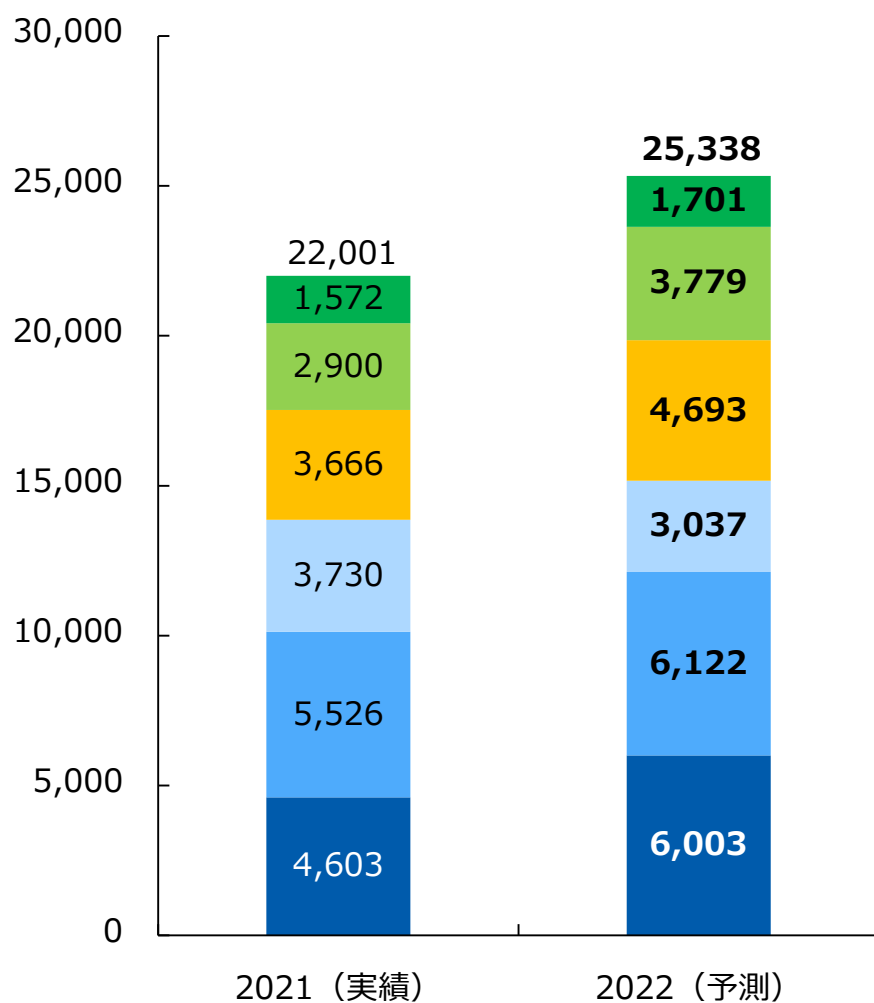


単位：百万円	第2四半期累計	通期	前期比 (通期増減)
売上高	12,090	25,338	3,336
プロセス機器事業	8,443	19,857	2,329
金型・樹脂成形事業	834	1,701	129
表面処理用機器事業	2,812	3,779	878
営業利益	856	2,555	463
プロセス機器事業	536	2,317	324
金型・樹脂成形事業	23	57	△29
表面処理用機器事業	296	180	166
経常利益	832	2,503	285
親会社株主に帰属する 当期純利益	565	1,731	△17

単位：百万円

売上高

営業利益



■ 半導体装置 ■ 搬送機器 ■ 洗浄機
■ コーター ■ 表面処理用機器 ■ 金型・樹脂成形

■ プロセス機器 ■ 表面処理用機器 ■ 金型・樹脂成形

■ 普通配当 ■ 一部上場記念配当 ■ 50周年記念配当



※2017年1月1日付で1:3の株式分割を行っております。

- パワー半導体／パッケージ用途で貼合/剥離装置の引合は引き続き強い。
- 搬送機器も引き続き受注好調。
- 洗浄機でウェーハメーカーから大口受注。
- ナノインプリント量産用デモ機の立上完了。受注に向けデモ実施中。
- 金型・樹脂成形でコネクタの需要は引き続き好調。
- 表面処理用機器は国内プリント基板メーカーの設備投資が回復。
- 全セグメントで部品・材料の入手が困難となっている。早期発注等により対応。
- 製造工程がひっ迫。生産管理・工程管理を強化し対応中。
- 部材調達困難に伴う製品の長納期化を見越し、顧客からの発注が早まりつつある。
- 材料の値上げについて受注済み案件に大きな影響はないが、今後の受注・利益に影響の懸念あり。
- 拡大する中国市場を見据え、現地での製造拠点として中国子会社の設立を決議。

単位：百万円

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
売上高	25,338	30,019	33,852
プロセス機器事業	19,857	24,027	27,445
半導体製造装置	6,003	7,765	9,935
搬送機器	6,122	6,653	7,175
洗浄装置	3,037	4,452	4,198
コーター	4,693	5,157	6,137
金型・樹脂成形事業	1,701	1,991	2,207
表面処理機器事業	3,779	4,000	4,200
経常利益	2,503	3,847	4,641
経常利益率	9.9%	12.8%	13.7%

単位：百万円

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
半導体装置			
塗布／現像装置	2,495	2,000	2,300
貼合／剥離装置	2,572	4,000	4,900
洗浄機			
洗浄装置	1,491	2,800	2,800
リン酸再生／ スラリー供給装置	566	1,000	900
コーター			
CF塗布装置	3,180	1,700	2,100
NIL装置 (ナノインプリント向)	870	2,100	2,400
PLP装置 (パネルレベルパッケージ向)	—	560	900

当社グループは、カーボンニュートラル実現を目指し、次のことに取組んでまいります。

中期経営計画期間（2022年～2024年）でのCO2削減目標

CO2総排出量の20%削減（2020年度総排出量 3,648 t - CO2※）

※現在使用している電力等の基礎排出量を採用した換算値であります。

<施策>

- ・自家消費型太陽光発電設備の設置（本社、井原第1・第3・第5工場の各屋上）

長期的なカーボンニュートラルの実現を目指した取り組み

<今後の取り組みとして検討中の施策>

- ・全社照明設備のLED化の推進
- ・保有森林（岡山県真庭市 415,794㎡）の活用（森林経営計画に基づく森林環境保全）
- ・再生可能エネルギー由来の電力などへの切り替え
- ・設備更新などによる電力効率化への取り組み
- ・対応部署の新設（カーボンニュートラルを含めたサステナビリティへの対応）

本資料の取扱上の注意

本資料は、2022年2月14日発表の決算短信に基づいて作成されております。

また、本資料に記載されている業績予測等は、現在入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

掲載内容には最新の注意を払っておりますが、掲載された内容に基づいて被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ先

タツモ株式会社 経営企画室

TEL 086-239-5000

FAX 086-239-5100

Email keiki@tazmo.co.jp



TAZMO